

事業内職業能力開発計画（個票）

社会福祉法人別府福祉会

○事業内職業能力開発計画に求められる内容

1 計画の基本方針

- ・経営理念・経営方針
- ・人材育成（従業員のキャリア形成支援）の基本的方針・目標

◎ 経営理念・経営方針

<経営理念>

- ・別府福祉会は、人間としての尊厳と社会連帯の思想を基本理念とし、公平・公正な法人運営に努める
- ・別府福祉会は、常に健全かつ活力ある経営に努めるとともに、民間社会福祉事業としての先駆性、独自性を発揮し、地域の期待に応える。
- ・別府福祉会は、広く法人、施設の機能を挙げて、地域福祉の充実発展に寄与する。
- ・別府福祉会は、職員の資質の向上を図るとともに、勤務条件の改善に努める。
- ・別府福祉会は、相互の親睦・交流を深めるとともに、切磋琢磨を怠らず、進んで研修、研究に努め、社会の進展に応じた広い視野をもって経営にあたる。

<<保育理念>>

『子どもから学び！子どもの育ちを保障しながら
愛と感動と冒険のある 思いあう保育をめざす』

<保育目標>

子どもたちが主体的に意欲的に学べるよう様々な環境を整え、自然素材を通じて人や物とのかかわりの中で、一人一人の発達と個性を受容し、思いやりのある感性豊かな心が育つよう健全な心身の発達を図る。「生きる力」に繋がる保育を目指す。

人材育成の基本方針・目標

下記の基本方針を実践できる専門職を育成する

1. 子どもの最善の利益の尊重（子どもの育ちのあゆみを保護者と共有）
2. 子どもの発達保障（養護と教育を一体的に行えるように発達チャートを活用）
3. 保護者との協力（ふれ愛タイム育児相談が保護者の子育て支援に効果）
4. プライバシーの保護（保育を通して知りえた個人情報や秘密を守る）
5. チームワークと自己評価（異年齢のチーム保育とチェックリストの自己評価）
6. 利用者の代弁（保護者と連携を深めながら、保護者の子育て力を支援）

7. 地域の子育て支援（ふれ愛ランドで地域の未就園親子の子育て支援）
8. 専門職としての責任（研修や自己研鑽を通して、専門職としての責務）